

# 第3回復職支援セミナーは11月予定

## 看護復職支援セミナー通信 第2号 2009年6月号

Q: ブランクを経て再就職を決めた理由を教えてください。

勤務時間の相談にのってくれたこと。長いブランクと経験が少ないことを理解してもらえたこと。就職後のサポート体制が整っていると感じたから。



Q: 看護師として再就職したことにどのような喜びを感じていますか?

看護師としての原点を思い出し、看護職に対する思いを改めて自覚しました。看護職に就いているという誇りとやりがいを感じています。

まだ何もできないですが教えてもらい学べるのがうれしいです。

患者さんの笑顔や“ありがとう”という言葉で頑張ることができまし復職して本当によかったと感じます。

Q: どれくらいで体が慣れてきましたか?

2ヶ月 という回答がおおかったです。



6月をすぎて新緑の木々がまぶしくなりましたね。  
この春、第2回看護復職支援セミナー参加者のなかから、6名のスタッフが道東勤医協に就職されました。ブランク最長20年のSさんも緊張

次回の復職支援セミナーは11月の予定です。また一緒に勉強しませんか?

のながすこしずつ技術の習得に奮闘中です。復職されたかたにアンケートをとりましたので紹介します。

## きらり☆看護紹介

人工呼吸器を装着しているAさんの唯一の楽しみが入浴（^^）毎週木曜日が入浴日です。主治医は協立病院一の多忙を極める医師だけどんなに忙しい状況であってもお決まりの時間に、お風呂いくよ～と病室を訪れます。

看護師2名は体を洗い、先生はもっぱらBVM（バックバルブマスク）をおしながら頭を洗う係り。

時間を気にして私たちはあせるのですが、Aさんは気持ちがよくて、『あがる』とはいいいません。誕生日には、あわ風呂や薔薇風呂なんかもプレゼントできて楽しめます。急性期一般病棟は目がまわるほど忙しいのですが、患者さんの気持ちよさそうな顔を見るとまたがんばろうという気持ちになります。



## 地域の医療は・・・

道東地域は医師も看護師も絶対的に不足しています。その背景で釧路市では病院の外来診療の縮小やベット数を減らしたりしています。看護師は夜勤のできる看護師がとりわけ不足しています。

医師も看護師も不足しているこの地域の医療体制をまもるための運動もひろまっています。

あなたをまっけている患者さんがきついです

## 編集後記



復職した6名のナースの現場へ突撃訪問しましたら、皆さん汗だくで奮闘していました。

患者さまとむきあっているその姿は立派な“看護師”。一歩踏み出したその勇気と感動をわすれずにいてほしいと思います。

## 連絡先

道東勤医協 釧路協立病院

看護長室

法人看護部長 田辺

協立病院総看護長 宮本

TEL0154-24-6811(代)

道東勤医協では随時看護師・保健師・准看護師の募集をしています。短時間の病棟や外来の採血業務や、病棟での限定業務など働く現場は、たくさんあります。

